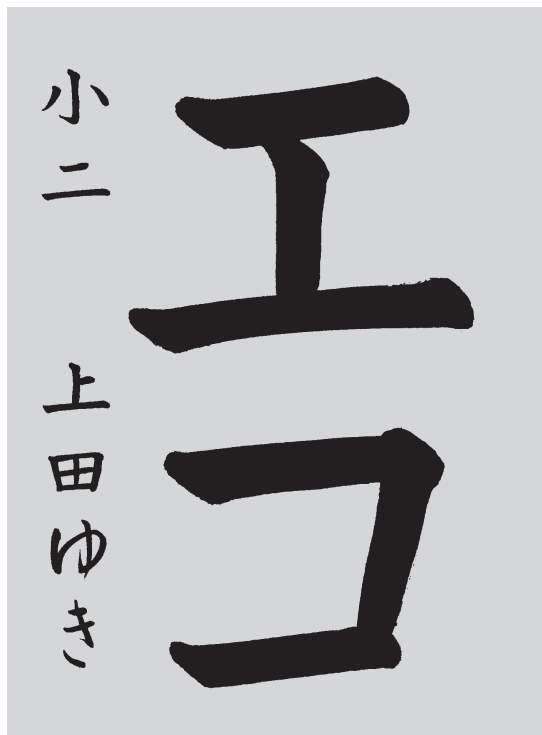


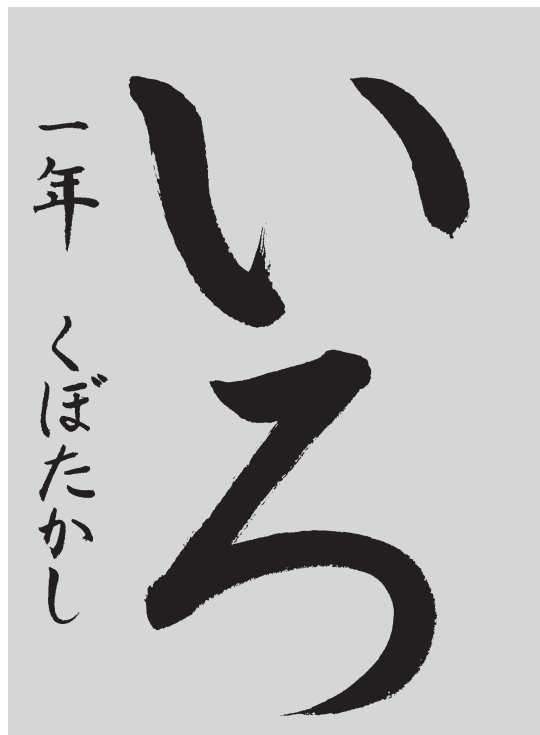
〔6月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。  
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

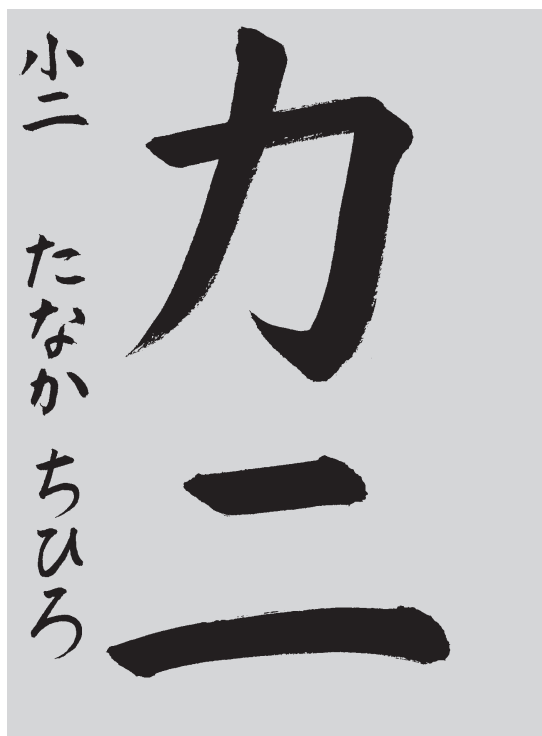


広瀬舟雲明先生

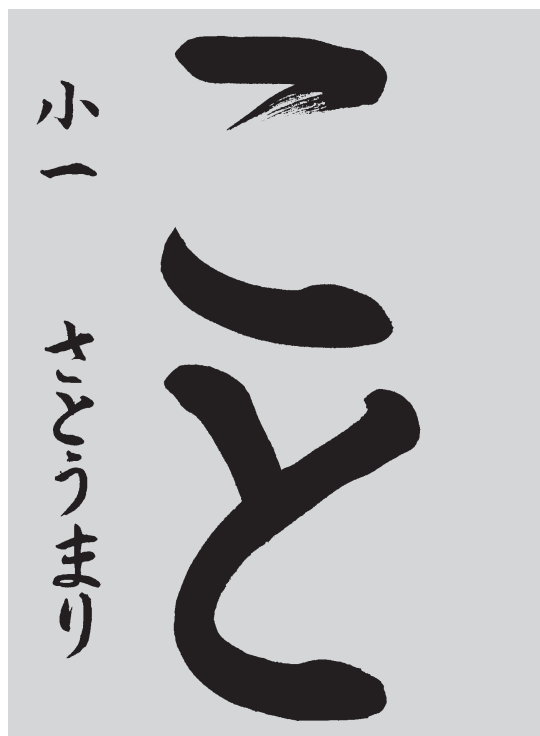
幼・小学1年参考手本



吹田紅扇先生



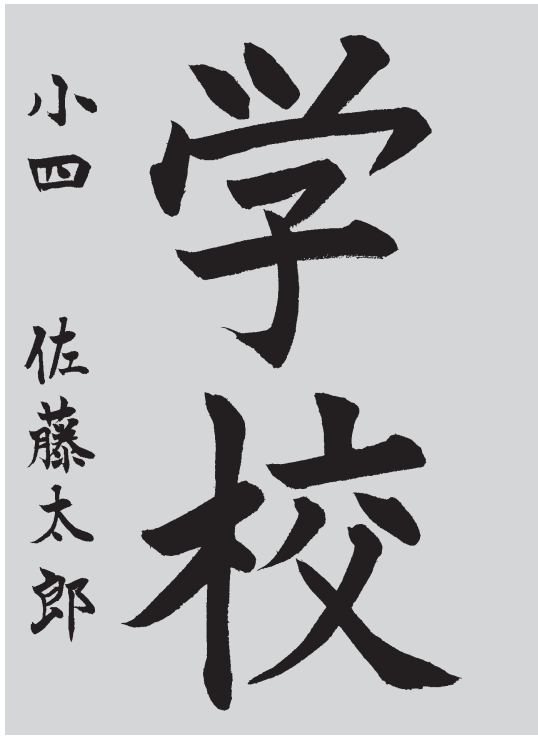
稲垣小燕先生



浜田堂光先生

〔6月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学4年参考手本

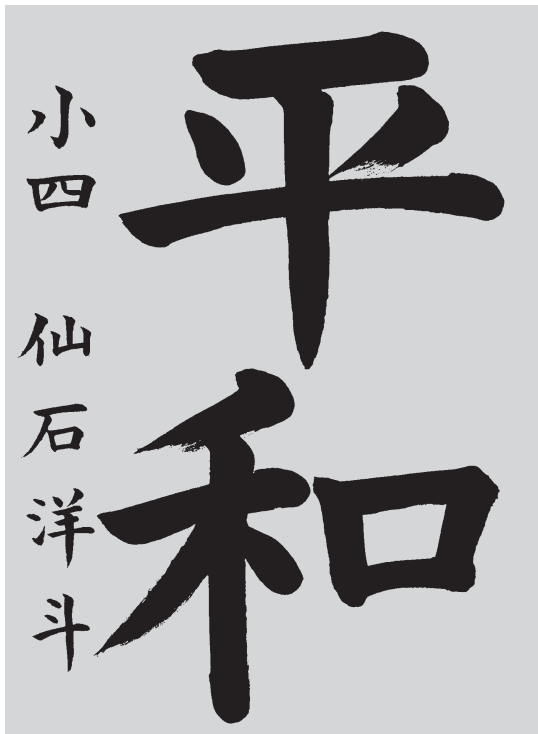


後藤大峰先生

小学3年参考手本



嵯峨大拙先生



北村白琉先生



西林乘宣先生

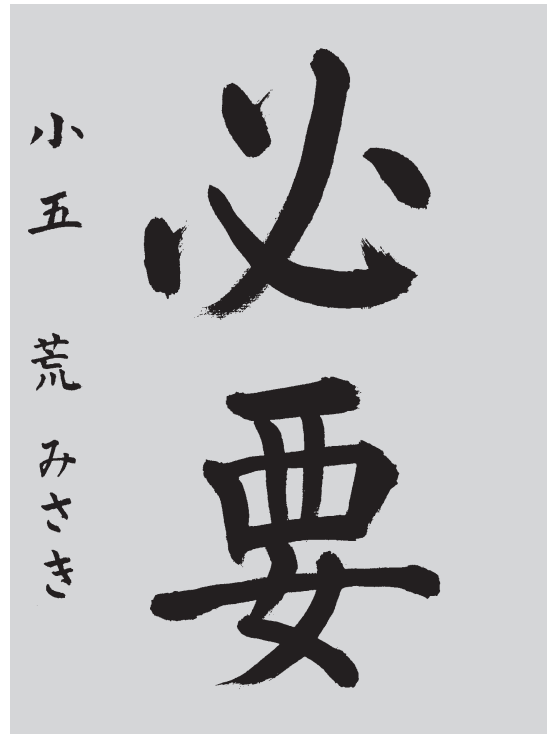
〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学6年参考手本

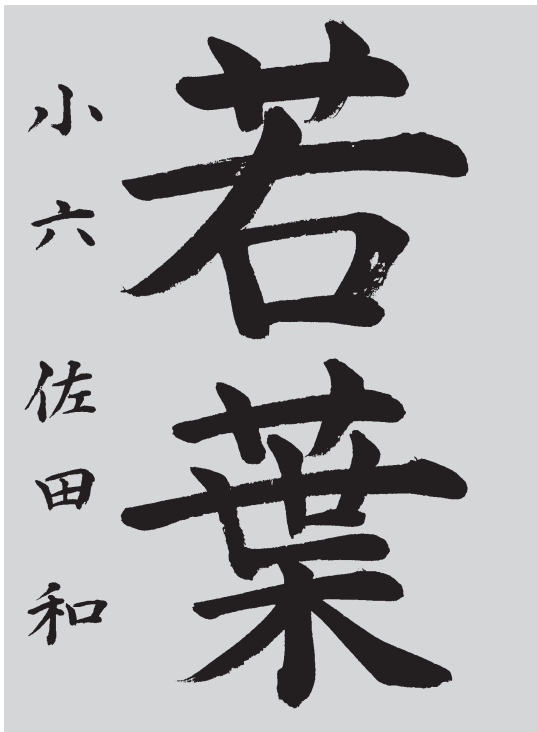


齋藤雨城先生

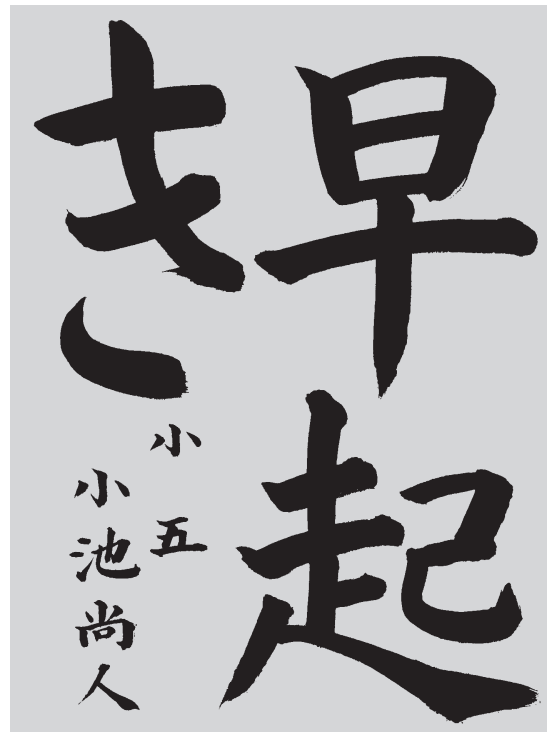
小学5年参考手本



恩地春洋先生



大野祥雲先生



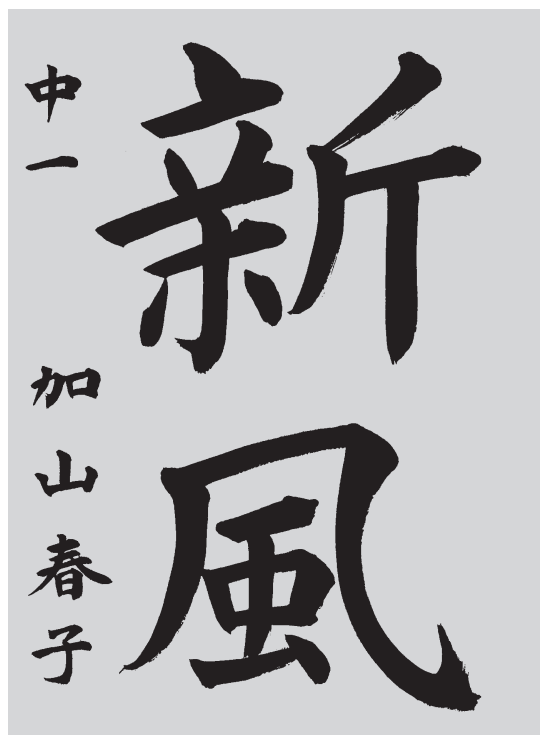
小池蹊舟先生

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

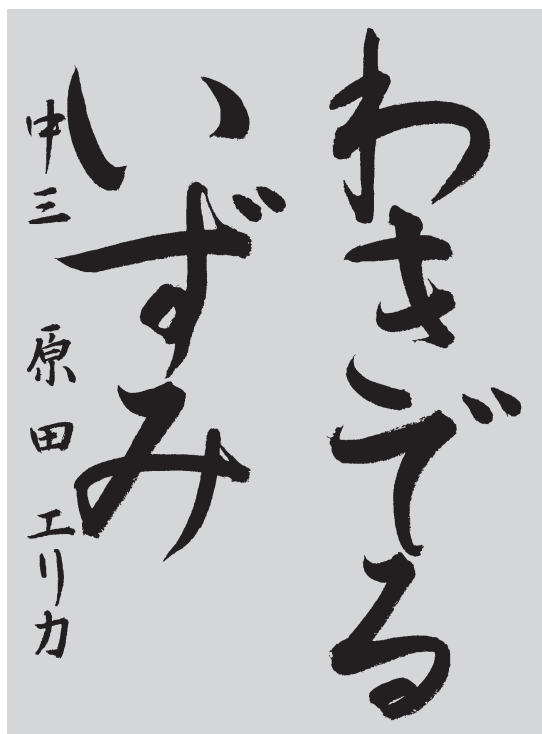
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



最首翠風先生



辻元大雲先生



下谷洋子先生



種谷萬城先生

〔6月10日締切課題〕

幼・小学 1 年

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

〔6月10日締切課題〕 用紙は本連盟指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。  
 ※6月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、春季昇級試験の書類（昇試用の出品券含む）と同送されますので、その券を貼って出品してください。（毛筆も同じ）

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。

「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用してよろしい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(一、二、三、四)と記入。

◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。

◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。

◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。

◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

支部名					
だん・きゅう					
がくねん					
一					
なまえ					
たかはししょうた					

「ガ」  
 とめ  
 つじけるまもちでかく

ちゅうしん  
 中心  
 のびやかにほらう

「と」  
 とめ  
 つじけるまもちでかく

『ありがとう』  
 「とめ」「はね」「はらい」をただし  
 かきましよう。

〔6月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 3 年

小学 2 年

支 部 名				
段 ・ 級				
学 年				
名 前				
	の	庭		
	行	の		
	列	す		
	を	み		
	見	で		
	ま	あ		
	し	り		
	た			
	。			

支 部 名				
段 ・ 級				
学 年				
名 前				
	と	き		
	て	よ		
	も	う		
	き	は		
	れ			
	い	青		
	で	空		
	す	が		
	。			



「へん」が大きい  
「行」も「列」も  
「へん」と「つくり」のつりあいに  
気をつけましょう

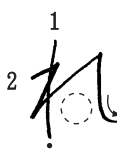


「つくり」が大きい



画の長さと「はらい」の方向に注意  
〈ひつじゅん〉  
戸 庭 庭

「ありの行列」  
とくに、「庭」の字形を正しく書きましょう。



ひつじゅんにちゅうい



穴 (あなかんむり) + 工  
長く



とめ

「空」の字形をただしく書きましょう。

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 5 年

小学 4 年

支部名	げ	ま	
	て	る	転
段・級	発	と	校
	言	、	生
学 年	し	元	は
	ま	気	、
名 前	ま	に	授
	し	手	業
	た	を	が
	。	拳	始

支部名	に	こ	
	う	ん	わ
段・級	つ	だ	か
	つ	日	葉
学 年	て	光	の
	き	が	間
名 前	れ	、	か
	い	庭	ら
	で	の	差
	す	池	し

中心  
拳  
少しそる

中心  
業  
め  
と  
筆順  
に入る角度に注意  
業

授  
筆順  
一ナオオオオ授授

「転校生」  
筆順にしたがって正しく整えて書きましょう。

中心  
差  
筆順  
ソソ 差 差 差

間  
筆順  
たてと横の分間を整えて  
門 門 門 門

中心  
葉  
筆順  
四画目が一番長い  
葉

「日光」  
筆順に気をつけて、字形を整えましょう

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中学生

小学6年

支部名	宮沢賢治が追い求めた理想。 それは、人間がみんな人間らしい 生き方ができる社会だ。
段・級	
学年	
名前	
名前	

支部名	わたしは、 係の人の 指示に従って、 裁判所 を見学しました。
段・級	
学年	
名前	
名前	

理想

追求

「追」「求」ともに  
「はらい」を「止める」  
(・印)

「理」「想」ともに  
画をつづける  
画を省略する  
画の接し方 あげる

本 王

「宮沢賢治」  
漢字を少し大きく書いてまとめましょう。

追い求めた

〈簡単な行書〉

裁

長く、少しそる

〈筆順〉  
土 去 去 表 裁 裁 裁

従

「はらい」の方向に注意

指

「匕」と「日」の組み立てに  
気をつけましょう

〈筆順〉  
一 十 才 扌 扌 指

「裁判所」  
漢字はひらがなより少し大きめに書きましょう。





3年	立	リツ リュウ た・つ た・てる	丨	丨	丨	丨	立
4年	学	ガク まな・ぶ	〃	〃	学	学	学
	校	コウ	一	十	木	木	校
5年	必	ヒツ かなら・ず	丶	ノ	义	必	必
	要	ヨウ い・る	冂	冂	西	要	要
	起	き お・きる お・こる お・こす	土	丰	丰	走	起
6年	応	オウ	一	广	广	応	応
	若	ジャク ニャク わか・い も・しくは	艹	艹	若	若	若
	葉	ヨウ は	艹	艹	葉	葉	葉
中学	権	ケン ゴン	木	木	権	権	権
	宣	セン	宀	宀	宣	宣	宣
	芽	ガ め	艹	艹	芽	芽	芽

# 行書を学ぼう (166)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

宣 人 新  
宣 人 新  
言 権 風  
言 権 風

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

# ひらがなの字源 (166)

み	ず	い	る	で	き	わ	源字	字形
美	寸	以	留	天	幾	和		
美	寸	以	留	天	幾	和		
み	す	い	る	て	き	わ		
み	す	い	る	て	き	わ		

※源字については、異字体から変遷したもの。\*印を付して( )にその字体を記した。  
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

書写教育  
全国大学書写書道教育学会編より転載

# 第63回 全国学生書道展規定 抜萃

## ●全国学生書道展指導者作品展示

一、会 期 平成23年7月29日～8日2日

一、会 場 東京都立産業貿易センター(浜松町館)

一、募集作品 書写、書道作品、書体文句は自由

一、参加資格 第一部(幼稚園児・小学生)  
第二部(中学生)  
第三部(高校生)  
第四部(大学・専門学校学生)

※個人の参加は認めない  
(ただし、10点以上ならば可)

一、種 類 毛筆、硬筆、ほか

半紙(たて34×よこ25センチ)  
※注意 美濃判は受け付けない

一、参加料 一単位……(10点)

五、〇〇〇円(一点五〇〇円)

一、参加要領

(ア)参加は一単位(10点)以上とし、何点でも参加できる。

(イ)一人何点(一枚を1点という)参加してもよいが、同一人の作品はクリップなどでまとめておく。

(ウ)作品は、裏打ちや表装などほしくないこと。用紙は、じょうぶなものをを用いること。

(エ)各学校や塾の参加責任者は、本連盟で定められた出品録用紙を使用して、作品といっしょに提出すること。

(オ)参加作品には、表面に、校名・学年・生徒氏名を記入する他、学校・塾の代表番号を記入する。

(カ)代表番号は、出品予定の通知をくださった団体に指定、通知いたします。

一、締め切り日 平成23年6月8日(水)

一、賞(個人賞)

一、全日本学校書道連盟大賞

一、全日本学校書道連盟準大賞

一、全日本学校書道連盟会長賞

一、財団法人書道芸術院理事長賞

一、社団法人全日本書道連盟賞

一、毎日小学生新聞賞(小)

一、毎日新聞社賞(中・高・大)

以上 A賞 副賞 楯

一、全日本学校書道連盟副会長賞(B賞)

一、全日本学校書道連盟奨励賞(C賞)

以上 副賞 トロフィー

一、推 薦

一、特 選

一、金 賞

一、銀 賞

一、銅 賞

以上 副賞 賞品

※くわしい募集規定をご入用の方は、連盟事務局までお申し込みください。

## 「全国学生書道展指導者作品展」

同じ会場で、教えた者と、教えられた者がいっしょに展示されることによって、より親しみがわく展覧会です。「育てる」ではなく、「共に育つ」ように工夫する。全日本書道連盟では、指導者と子どもが同じように悩み、同じように苦しみ、同じように喜びを味わって成長していくことを心がけています。

○出品者

- 全国学生書道展出品指導者
- 「書の教室」支部指導者
- 書道芸術院審査会員

○作品

半紙額  
(額内寸50×38以内、縦横自由)

まくりのまま出品、連盟事務局でまとめて表装依頼します。

指定の出品票を添付して連盟事務局まで送付してください。

○出品料

一人一点一五、〇〇〇円  
(表装料・返送費込み)

。指定の振替用紙にて5月末までに納入してください。

○締め切り

平成23年6月8日(水)  
※学生展と同じ

## ◇ 登録用紙 ◇

団体番号		支部名	先生名
------	--	-----	-----

氏名を楷書で記入してください。

氏名	ふりがな	学年		備考
		小	中	
事務局使用欄				

# 編集余録

○3月11日の東日本大震災から1ヶ月が経過しました。まだまだ震度5か6の余震が続いています。福島原発事故の回復も遅れているようです。東北地方の被災地の様子をテレビで見ても、ため息ばかりが出てしまいます。

○何か自分に出る事は？ 3月20日に息子と共に千葉県旭市飯岡へ災害ボランティアに行ってきました。長靴、手袋、スコップ、ボール、おにぎり、水筒を持ち旭市災害ボランティアセンターへ集合。二千人の老若男女が千葉県を中心に全国から集まっていました。

中学の部活の子供達、高校の野球部、個人で参加している人が多いのは驚きでした。神戸や新潟の中越地震にも参加した方もいました。

○登録するのに時間がかかりましたが誰も不平を言う人はいません。みんな強い志があるのが良く解ります。5人一組になり、掘壕の規模により10人、15人のチームを作ります。私達のチームは11人、被災地の海岸まで移動し担当する家へ行き、要望を伺い片付けを開始、みんなで声を掛け合いながら、5時間で二軒のお家をきれいに片付けました。これで、新たなスタートが出来る事でしょう。

○鼻と耳にピアスの青年がいました。恐らく社会に余り受け入れられないタイプかなと思います。しかし、その青年が黙々と一生懸命に汗を流す。素晴らしい働きでした。帰り際、「また、どこかのボランティアで逢おう」握手して別れたのですが涙が出るほど感動しました。

# 漢字に親しもう

15

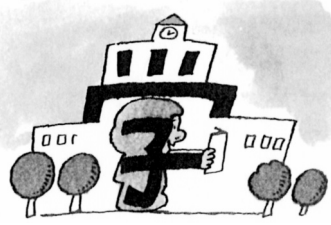
六月号四年生の毛筆課題「学校」にスポットを当てて、「学」と「校」の字の成り立ちと学校(がっこう)のようにつまってよむ。にごってよむ。音がかわる。読み方に気を付ける字を声を出して学びましょう。

## 学

訓 音  
まなぶ ガク

學(學) 学

𠄎(㇀せんせいと せいとがむかいあって いる ようす)と、「(㇀いえ)と、𠄎(㇀子)をくみあわせた じ。「べんきょうする ところ」のいみから、「がっこう」「まなぶ」のいみになった。

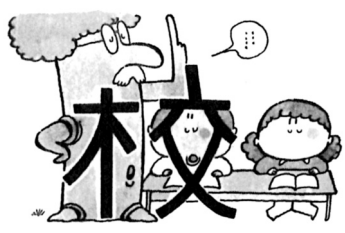


## 校

訓 音  
コウ

校(校) 校

𠄎(㇀あしを ×の かにちにくむ)と、𠄎(㇀木)をくみあわせた じ。せんせいが おしえる ことと、せいとが ならう こととくみあう ようすを あらわす。「がっこう」の いみ。



○AICのコマーシャルではないのですが、これだけ多くの方がみんなで日本を何とかしようという熱い思い。一人の力は小さいけれど力を合わせれば、時間には掛るけれども必ず復興出来ると確信しました。(鄭衛)

### ◇よみかたにきをつけよう◇

- ☆にごって よむ。
- 貝—まき貝・ほら貝
- 玉—しゃぼん玉・くす玉
- 百—三百円・六百まい
- 顔—わらい顔・じまん顔
- 紙—ちよ紙・ちり紙
- 声—はなし声・さげび声
- ☆つまって よむ。
- 学—学校
- 六—六本
- 国—国家
- 石—石器
- 百—百科じてん
- ☆音が かわる。
- 金—金あみ・金つち
- 雨—雨だれ・雨水・雨戸
- 白—白ぎく・白雲
- 風—風上・風下
- 船—船出・船のり
- 北—北海道
- 作—作曲
- 日—日光
- 楽—楽器